豊田市猿投中学校区

基礎版防災カルテ

作成：平成 29 年 3 月

目次

1 基礎版防災カルテの目的 2
2 豊田市について 2
2.1 豊田市の人口・面積等 2
2.2 東海地方を中心とした災害記録 3
2.3 豊田市の災害記録 4
3 中学校区概要 5
3.1 概要 5
3.2 社会条件 6
4 中学校区の被害予測 7
4.1 地震被害予測結果 7
4.2 土砂災害危険箇所 15
4.3 洪水による浸水分布 16
4.4 矢作川水系洪水浸水想定区域図 17
5 中学校区基礎資料 19
5.1 微地形図 19
5.2 揺れやすさマップ 20
5.3 標高地図 21
5.4 旧版地形図 22
6 中学校区防災力評価 23
I 【参考資料】防災資源 26
I.1 防災関連施設マップ 26
II 【参考資料】用語説明 34

1 基礎版防災カルテの目的

全国で相次ぐ大規模な土砂災害や河川氾濫、地震が発生しており、豊田市でも同様の災害の発生が危惧されています。これら災害に備えるには、豊田市の各地区が、自然災害全般に対し主体的に対策等を推進することが重要となります。

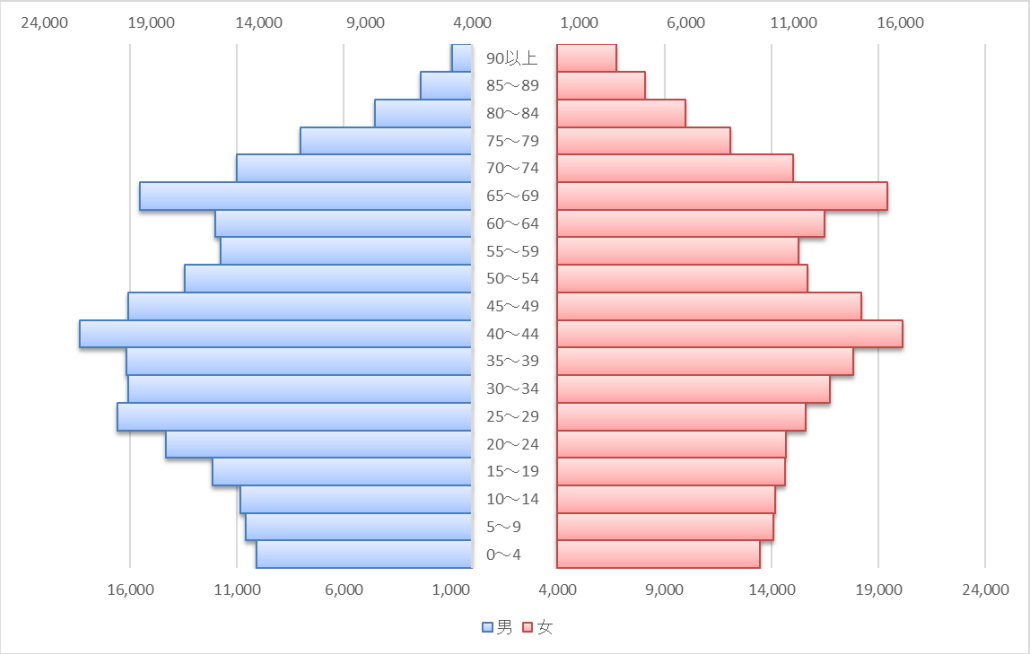
基礎版防災カルテは、豊田市の各地区が自然災害全般に対して対策を推進するにあたり、各地区の災害に対する脆弱性や現在の防災力等を、カルテとして整理し基礎資料として取り纏めています。

2 豊田市について

2.1 豊田市の人口・面積等

項目	実数	項目	実数
面積	918.32 ㎢	人口密度	462.57 人/㎢
人口計	424,789 人	昼間人口	458,833 人
男	221,951 人	女	202,838 人
世帯数	175,874 世帯	海抜（市役所）	36.73m
市内最高地（稲武町）	1,240m	市内最低地（駒新町）	3.2m

※平成 28 年 4 月 1 日現在



グラフ 1 豊田市人口ピラミッド（単位：人）

2.2 東海地方を中心とした災害記録

発生年月	災害	豊田市内の被害概要
明和４年（1767 年）	明和４年災害	簗平村では、矢作川の流路変化で高請地が水没。矢作川の右岸が約 700mにわたり破堤した。
明治 24 年 10 月 28 日	濃尾地震	尾張地方に甚大な被害をもたらした。濃尾平野の広範で液状化現象が見られた。死者 2,638 人、住宅全半壊約 71,000 戸。
昭和 19 年 12 月 7 日	東南海地震	県下で大被害を生じた。各地で液状化現象が見られた。死者 438 人、住宅全半壊約 24,000 戸。
昭和 20 年 1 月 13 日	三河地震	西三河地方を中心に大被害を生じた。死者 2 千 3 百 6 人、住宅全半壊約 2 万 4 千戸。
昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風	愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水が起こり、死者・行方不明者が 3,300 名以上に達する大きな被害となった。
昭和 47 年 7 月 12 日～13 日	47・7 豪雨災害	昭和 47 年 7 月 12 日夜半から 13 日の未明にかけての豪雨により、西三河地方を中心に大きな被害をもたらし、特に旧小原村の被害は甚大で、32 名の村民の命を奪うとともに、財産に壊滅的な被害を与えた激甚災害である。
平成元年 9 月	平成元年 9 月豪雨	台風 22 号の影響で、愛知県は三河山間部を中心に激しい雨に見舞われた。特に豊田市旭地区（旧旭町）では時間最大雨量 95 ミリという記録的な集中豪雨となり、各所で土石流や山崩れが発生、死者 1 名全壊家屋 18 戸の災害となった。
平成 12 年 9 月 11 日～12 日	東海豪雨	秋雨前線と台風 14 号の影響により記録的な豪雨となり、各地で土砂災害が発生し、市内（合併市町村含む）では死者 1 名、家屋全半壊 16 棟の被害を受けた。

2.3 豊田市の災害記録

昭和 34 年伊勢湾台風について

昭和 34 年の伊勢湾台風では、南からの暴風によって伊勢湾・三河湾の奥に海水が吹き寄せられ、広範囲に高潮が発生、堤防が決壊するなどしました。豊田市（合併市町村含む）の人的・家屋の被害は、死者・行方不明者は 23 名となり、家屋の全半壊 5,556 棟、床上床下浸水 925 棟となりました。

47・7 豪雨災害について

47・7 豪雨とは昭和 47 年 7 月に、九州,四国,中国,愛知・岐阜県境附近,神奈川など全国各地で発生し、犠牲者の合計は 421 名に上る大災害です。豊田市（合併市町村含む）の人的・家屋の被害は、死者・不明者 63 名となり、全半壊 519 棟、床上・床下浸水 5,406 棟となりました。

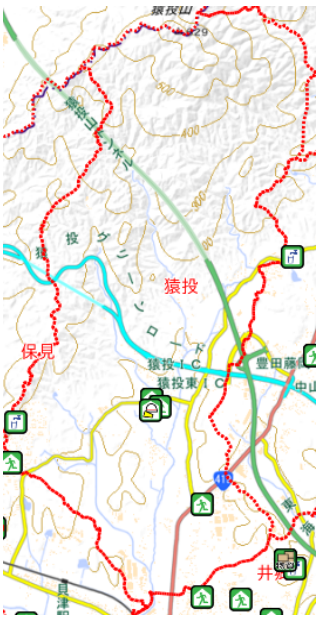
平成 12 年東海豪雨について

東海豪雨は平成 12 年 9 月 11 日夜から 12 日にかけて、愛知県、三重県、岐阜県などの東海地方に発生した観測史上最大の集中豪雨です。矢作川にある岩津水位観測所では、9 月 12 日午前 8 時に最高水位 7.93mを記録するなど、過去最大級の出水となりました。このため、各地で土石流や流木による被害、さらに河川の氾濫や低平地の浸水などの災害をもたらし、また豊田市（合併市町村含む）では、稲武地区・足助地区・旭地区を中心に、山崩れやがけ崩れ等の山地災害が発生しました。豊田市（合併市町村含む）の人的・家屋の被害は、死者・不明者 1 名、負傷者 1 名となり、全半壊 16 棟、床上・床下浸水 739 棟となりました。

3　中学校区概要

3.1 概要

猿投地域は、市中心市街地の北方に位置しています。地区北部には、標高 629mの猿投山があり、山頂付近には、猿投神社の西の宮と東の宮が、山麓には、猿投神社本社があります。地区の中央を籠川が流れており、籠川の支流の広沢川上流の川床には、「菊石」と呼ばれる球状花崗岩があり、国の天然記念物に指定されています。地区中央部には、桃や梨などの畑や古くからの集落が広がっています。西部丘陵地には、乙部ケ丘団地が、東部丘陵地には、さなげ台団地があります。主要道路としては、東海環状自動車道、猿投グリーンロード、国道 419 号などがあり、公共交通機関としては、おいでんバスが 4 路線運行しています。



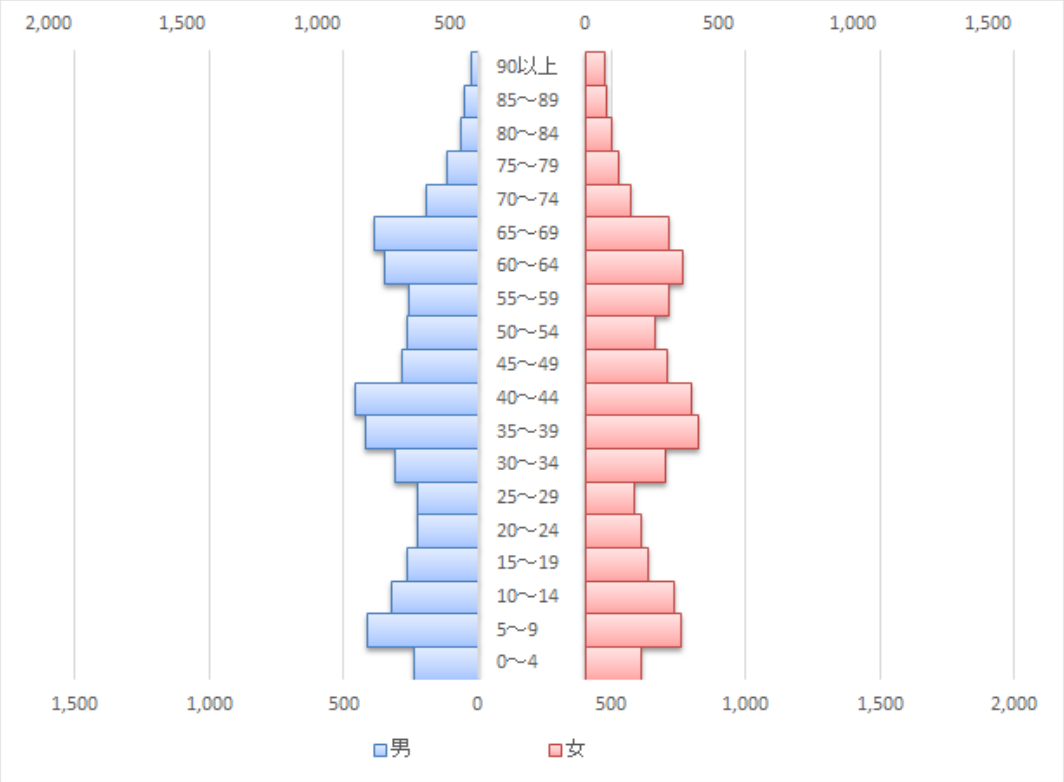
	災害対策本部及び現地対策本部設置場所 防災対策活動拠点
	広域避難地
	緊急避難場所兼避難所
	医療機関
	救援物資受入施設
	応急給水施設
	緊急時ヘリポート可能箇所 愛知県防災ヘリコプター飛行場
	自主避難場所

※「緊急避難場所兼避難所」については、「避難所」のみとなっている箇所があります。ご注意ください。

学校名	猿投中学校
該当地区	乙部町、乙部ケ丘、加納町、亀首町※、猿投町、本徳町、舞木町 （一部が含まれる場合は町丁目名の後ろに※を記載）
面積	24.68 km^2

3.2 社会条件

	校区内人数	割合		校区内	市平均
総人口	9,588 人	2.3%（市内）	人口密度	388 人/km²	461 人/km²
世帯数	3,227 戸	1.9%（市内）	世帯人数	2.97 人/戸	2.44 人/戸
0 歳～14 歳	1,866 人	19.5%（区内）	旧耐震基準家屋率（木造）※	25.7%	
15 歳～64 歳	6,040 人	63.0%（区内）			
65 歳以上	1,682 人	17.5%（区内）	（平成 28 年 4 月 1 日時点） ※旧耐震基準家屋率：中学校区内にある町丁目毎の家屋の内、昭和 56 年以前に建てられた木造家屋の割合		
男性	4,883 人	50.9%（区内）			
女性	4,705 人	49.1%（区内）			



グラフ 2 猿投中学校区人口ピラミッド（単位：人）

4　中学校区の被害予測

4.1 地震被害予測結果

平成 25 年 5 月に内閣府が公表した南海トラフの巨大地震に対する被害想定及び平成 26 年 5 月に愛知県が内閣府の被害想定を参考に公表した被害想定を基に、豊田市の地域特性を考慮し、独自に実施した被害予測結果です。

想定地震の概要

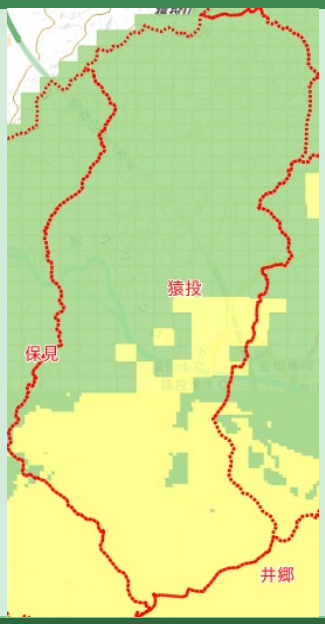
過去地震災害モデル	理論上最大想定モデル
地震規模：内閣府で検討中 **周期：**約 100 年～150 年の間隔 **地震想定：**過去に南海トラフで繰り返し発生している地震のうち、発生したことが明らかで規模の大きい 5 つの地震を重ね合わせたモデル	**地震規模：**M9.0 **周期：**1,000 年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低い **地震想定：**南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定したモデル

想定の前提条件

シーン設定	想定される被害の特徴
冬・深夜 5 時	市民の多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高い。
夏・昼 12 時	オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災する場合が多い。
冬・夕方 18 時	住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。

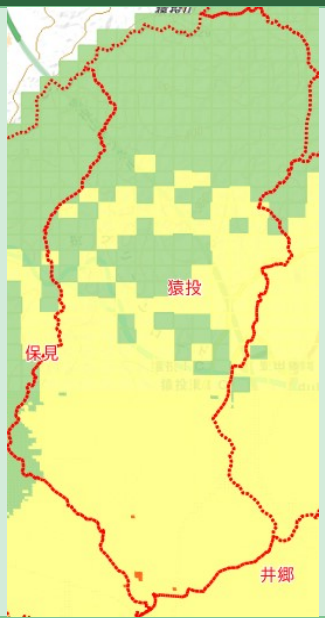
震度分布図

過去地震最大モデル



震度 5 弱	0%
震度 5 強	64%
震度 6 弱	36%
震度 6 強	0%

理論上最大想定モデル



震度 5 弱	0%
震度 5 強	43.3%
震度 6 弱	56.7%
震度 6 強	0.1%

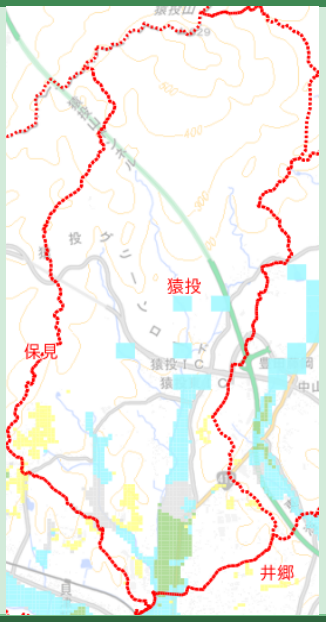
★このマップは、過去地震最大モデル及び南海トラフ理論上最大モデルにおける震度分布を中学校毎に切り出したものになります。

★このマップは、平成 27 年 3 月に取りまとめた「豊田市地震被害予測結果報告書」を基に作成しています。

★本中学校区では、理論上最大モデルにおいて、震度 6 強となる地域が一部にあります。

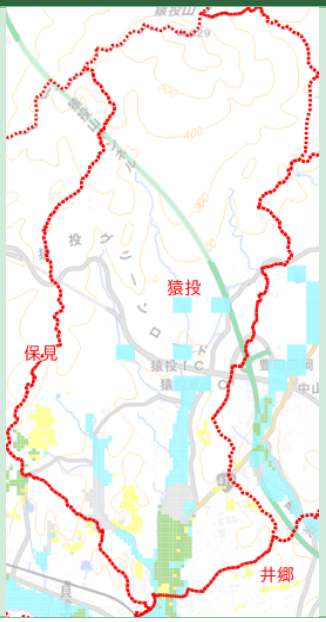
液状化危険度分布図

過去地震最大モデル



極めて低い	4.6%
低い	1.9%
高い	2.2%
極めて高い	0%

理論上最大想定モデル



極めて低い	4.5%
低い	2.1%
高い	2.1%
極めて高い	0%

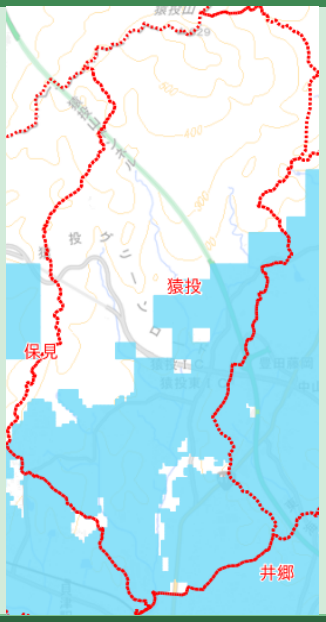
★このマップは、過去地震最大モデル及び南海トラフ理論上最大モデルにおける液状化危険度分布図を中学校毎に切り出したものになります。

★このマップは、平成 27 年 3 月に取りまとめた「豊田市地震被害予測結果報告書」を基に作成しています。

★本中学校区では、過去地震最大モデルにおいて、高い地域が一部にあります。

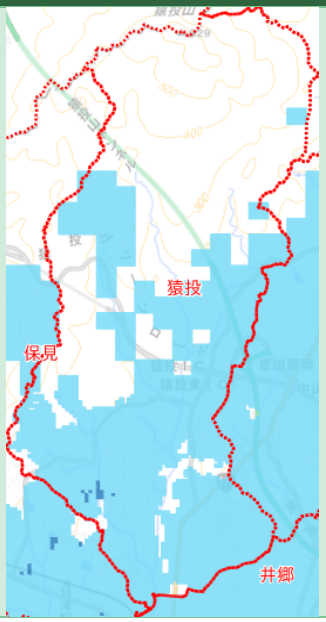
建物倒壊危険度

過去地震最大モデル



～5%	38.9%
5%～10%	0%
10%～20%	0%
20%～30%	0%
30%～40%	0%
40%～	0%

理論上最大想定モデル



～5%	46.7%
5%～10%	0.2%
10%～20%	0%
20%～30%	0%
30%～40%	0%
40%～	0%

★このマップは、過去地震最大モデル及び南海トラフ理論上最大モデルにおける建物倒壊危険度を中学校毎に切り出したものになります。

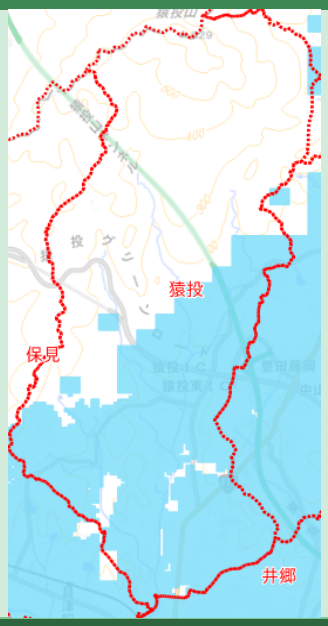
★このマップは、平成 27 年 3 月に取りまとめた「豊田市地震被害予測結果報告書」を基に作成しています。

★このマップは、過去の地震から導き出された木造建物の「震度と建築年の全壊した建物の被害傾向」を基に、建物が全壊する割合をメッシュ単位で解析したものです。

★本中学校区では、理論上最大モデルにおいて、5～10%未満の地域が一部にあります。

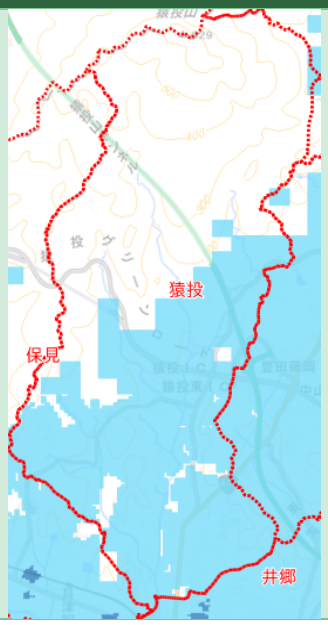
建物倒壊延焼危険度

過去地震最大モデル



～5%	42.6%
5%～10%	0%
10%～20%	0%
20%～30%	0%
30%～40%	0%
40%～	0%

理論上最大想定モデル



～5%	45.5%
5%～10%	0%
10%～20%	0%
20%～30%	0%
30%～40%	0%
40%～	0%

★このマップは、過去地震最大モデル及び南海トラフ理論上最大モデルにおける建物倒壊・延焼危険度を中学校毎に切り出したものになります。

★このマップは、平成 27 年 3 月に取りまとめた「豊田市地震被害予測結果報告書」を基に作成しています。

★このマップは、地震により全壊または焼失する建物の割合をメッシュ単位で解析したものです。

★本中学校区では、理論上最大モデルにおいて、5%未満の地域が一部にあります。

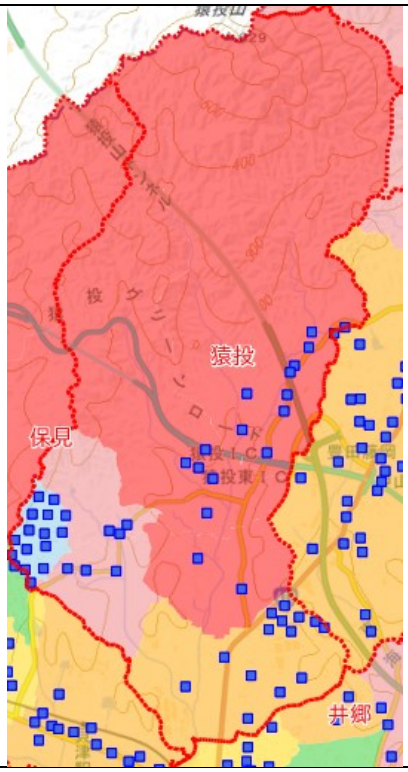
道路閉塞危険度

凡例		危険度高		危険度中		危険度低

危険度高：通行できない可能性の高い道路です。
危険度中：通行できない可能性のある道路です。
危険度低：通行に十分に注意が必要な道路です。

★このマップは、南海トラフ理論上最大モデルにおいて、道路閉塞する可能性のある道路を中学校区毎に切り出したものになります。
★道路閉塞危険度は、道幅 5.5m以下の道路の内、建物全壊率 10%～20%のメッシュを通る道路を「危険度低」、20%～30%のメッシュを通る道路を「危険度中」、30%以上のメッシュを通る道路を「危険度高」として、解析したものです。尚、解析対象の道路幅は 3m 以上の道路となります。
★このマップは、平成 27 年 3 月に取りまとめた「豊田市地震被害予測結果報告書」を基に作成しています。
★本中学校区では、上記の計算条件に基づいた危険度の高い道路はありません。なお、4m 以下の幅の道路については、車の停車などにより通行できなくなる可能性があることに留意してください。

消防活動困難危険度



凡例

	20％未満		70％から80％未満
	20％から40％未満		80％から90％未満
	40％から60％未満		90％以上
	60％から70％未満		防火水槽

★このマップは、消防活動困難危険度を中学校区ごとに切り出したものになります。

★このマップは、防火水槽から半径 140 メートル以内は消防活動可能区域とし、町単位に消防活動困難区域の割合を町の総面積から解析したものです。尚、防火水槽については、道路閉塞の危険のある道路から 30 メール以内にあるものは利用困難とみなし、解析対象から除外しています。

★本中学校区では、危険度 80～90%の地域が広範囲にあります。

被害予測（建物被害・人的被害）

被害予測（建物被害）（単位：棟）

過去地震最大モデル	揺れ	液状化	急傾斜地	火災
冬深夜発災				
全壊・焼失	4	0	1	0
半壊	63	6	2	－
夏昼発災				
全壊・焼失	4	0	1	0
半壊	63	6	2	－
冬夕方発災				
全壊・焼失	4	0	1	0
半壊	63	6	2	－

理論上最大想定震度	揺れ	液状化	急傾斜地	火災
冬深夜発災				
全壊・焼失	16	0	1	0
半壊	139	6	3	－
夏昼発災				
全壊・焼失	16	0	1	0
半壊	139	6	3	－
冬夕方発災				
全壊・焼失	16	0	1	2
半壊	139	6	3	－

被害予測（人的被害）（単位：人）

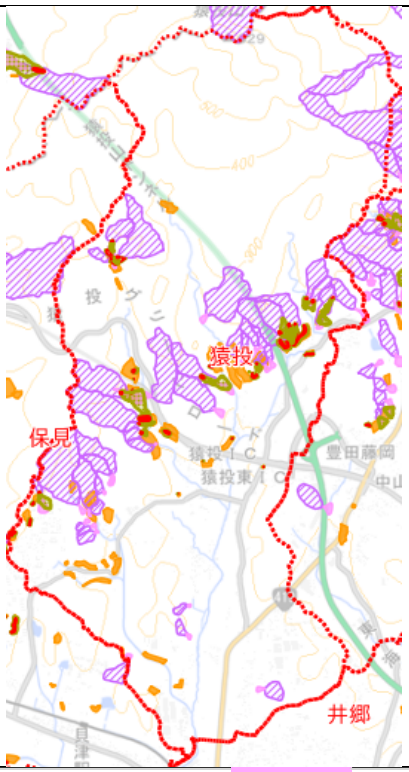
死者数	重傷者数	軽傷者数
冬深夜発災		
0	1	13
夏昼発災		
0	1	8
冬夕方発災		
0	1	9

死者数	重傷者数	軽傷者数
冬深夜発災		
1	2	30
夏昼発災		
0	2	10
冬夕方発災		
1	2	17

★これは、過去地震最大モデル及び南海トラフ理論上最大モデルにおける建物被害及び人的被害を中学校毎に示したものになります。

★本中学校区では、建物被害で最大 16 棟の全壊・焼失、人的被害では最大 1 名の死者数が想定されています。

4.2 土砂災害危険箇所



凡例				
		土砂災害警戒区域（土石流）		土石流危険渓流による危険区域
		土砂災害特別警戒区域（土石流）		土石流危険流域
		土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）		急傾斜地崩壊危険箇所
		土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）		地滑り危険箇所
		土砂災害警戒区域（地滑り）		

★このマップは、愛知県が調査し公表している土砂災害警戒区域等を表示しています。
★本中学校区では、土石流危険流域に指定されている地域が一部にあります。

4.3 洪水による浸水分布

東海豪雨浸水実績

浸水想定

★このマップは東海豪雨浸水実績及び豊田市洪水ハザードマップを中学校区ごとに切り出したものとなります。

★このマップに表示した浸水の範囲や深さは、計算により得られた結果と東海豪雨時の浸水箇所を重ねたものです。実施の大雨では、表示した深さと異なる場合もあります。

★このマップで色がついていない場所は、計算では浸水しない場所です。このマップに浸水が示していない場所でも浸水する可能性がありますので注意してください。

★このマップに示した洪水により水の浸かる深さは、水色から赤色になるほど深くなることを示しています。

★本中学校区では、東海豪雨浸水実績及び 1～2m 未満の浸水が想定される地域が一部にあります。

4.4 矢作川水系洪水浸水想定区域図

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

凡例					
	0.5m未満の区域		3.0～5.0m未満の区域		10.0～20.0m未満の区域
	0.5～3.0m未満の区域		5.0～10.0m未満の区域		20.0m以上の区域

★このマップは、矢作川水系矢作川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模）及び計画降雨（計画規模）による浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示したものです。

★シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

★指定の前提となる降雨　矢作川流域の 48 時間総雨量 683mm

★本中学校区では、矢作川水系の洪水による浸水想定区域が一部にあります。16 ページの浸水想定図を参照してください。

洪水浸水想定区域図（計画規模）

凡例					
	0.5m未満の区域		3.0～5.0m未満の区域		10.0～20.0m未満の区域
	0.5～3.0m未満の区域		5.0～10.0m未満の区域		20.0m以上の区域

★このマップは、指定時点の矢作川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模）及び洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/150（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150（0.7%））の降雨（計画規模）に伴う洪水により矢作川が氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。

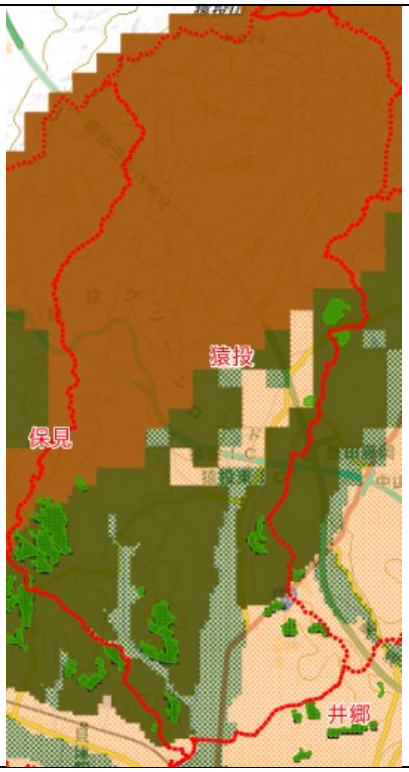
★シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

★指定の前提となる降雨　矢作川流域の 48 時間総雨量 321mm

★本中学校区では、矢作川水系の洪水による浸水想定区域が一部にあります。16 ページの浸水想定図を参照してください。

5 中学校区基礎資料

5.1 微地形図



凡例

	山地		ローム台地		砂丘		大規模盛土（山地）
	山麗地		谷底低地		砂州・砂丘間低地		大規模盛土（丘陵）
	丘陵		扇状地		干拓地		大規模盛土（砂礫質台地）
	火山地		自然堤防		埋立地		大規模盛土（谷底低地）
	火山山麗地		後背湿地		硯・岩礁		大規模盛土
	火山性丘陵		旧河道・旧沼地		河原		
	岩石台地		三角州・海岸低地		河道・水路		
	砂礫質台地		砂州・砂礫州		湖沼		

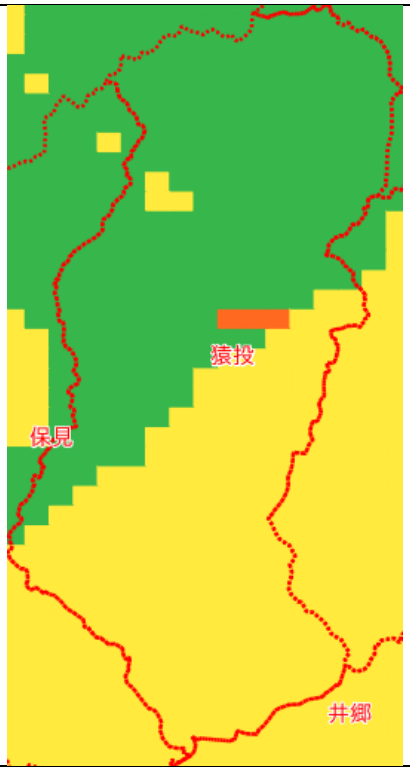
★地形と自然災害は、密接な関係があります。そのため地形から発生しやすい災害を推定することができます。

自然災害		被害を受けやすい代表的な地形
地震災害	液状化	旧河道、後背湿地、埋立地、大規模盛土
	地盤崩壊	山麓地、大規模盛土
洪水	土石流・斜面崩壊	山麓地、扇状地
	洪水氾濫・内水氾濫	旧河道、後背湿地、干拓地、三角州・海岸低地、砂州・砂礫州

★このマップは、山地、丘陵など微地形分類を中学校区ごとに切り出したものになります。

★本中学校区では、地震による液状化や地盤崩落の危険性を伴う大規模盛土が一部にあります。

5.2 揺れやすさマップ

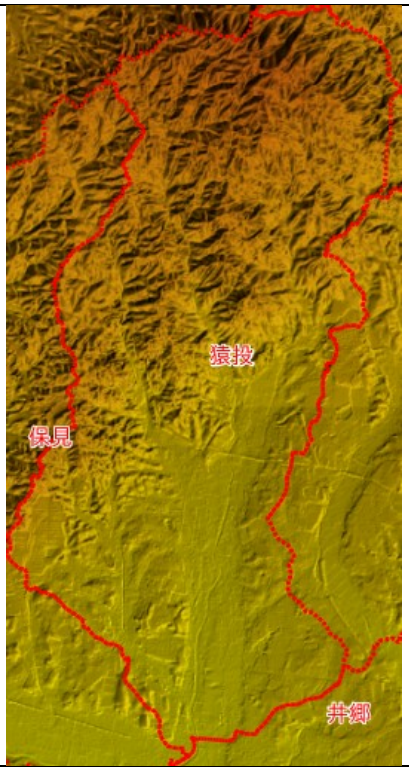


凡例

	震度5強		震度6弱		震度6強

★このマップは、直下で M7 クラスの地震が発生した場合の震度分布を中学校区ごとに切り出したものになります。
★地震による地表でのゆれの強さは、主に、震源断層に関する「震源特性」、震源からの地震波の伝播経路に関する「伝播特性」、表層地盤のかたさ・やわらかさに関する「地盤特性」の３つによって異なります。
★一般には、地震の規模（マグニチュード）が大きい（震源特性の１つ）ほど、また、震源から近い（伝播特性の１つ）ほど地震によるゆれは大きくなります。
しかし、マグニチュードや震源からの距離が同じであっても、表層地盤の違い（地盤特性）によってゆれの強さは大きく異なり、表層地盤がやわらかな場所では、かたい場所に比べてゆれは大きくなります。
この効果を、ここでは「表層地盤のゆれやすさ」と表現しています。
★なお、地盤条件の精度向上により、解析される予測震度も変わる可能性があります。
★本中学校区では、震度 6 強の地域が一部にあります。

5.3 標高地図

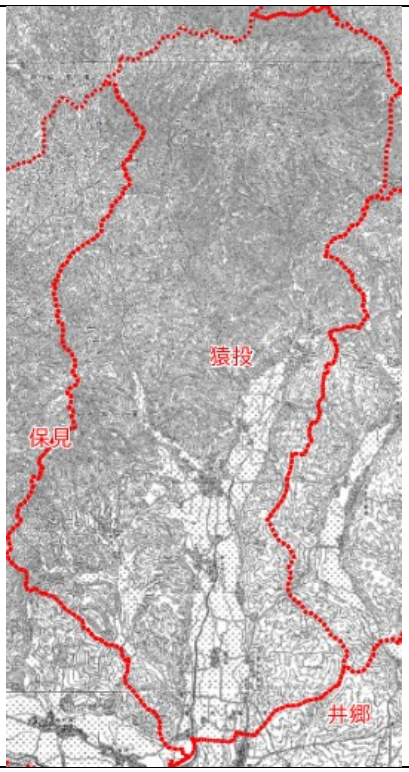


凡例

	～1,000m		～45m		～5m		～0m
	～500m		～25m		～3m		～-3m
	～200m		～15m		～2m		
	～100m		～10m		～1m		

★このマップは、より青色に近い地域が標高が低いことを表しています。
★洪水などではより低い地域に水が流れ込みやすく、いち早い避難が必要となります。また、校区内の標高の高い地域を把握（少しでも早く高い地域へ避難）し、洪水時における避難行動、ルートを検討する必要があります。
★河床よりも低い標高の地域については、洪水等水害への注意が必要となります。
★急傾斜地などは土砂災害への注意が必要となります。
※黒色の箇所はデータが整備されていない箇所となります。
★本中学校区では、急な傾斜を伴う地形が広範囲にあります。

5.4 旧版地形図



地図種別	図名	測量年	発行年月日	作成機関名
2 万正式図	擧母	明治 24 年	1893/06/30 (明治 26 年)	大日本帝國陸地測量部
2 万正式図	廣澤村	明治 24 年	1893/09/29 (明治 26 年)	大日本帝國陸地測量部
2 万正式図	瀬戸	明治 24 年	1893/06/30 (明治 26 年)	大日本帝國陸地測量部

★このマップは、明治期の地形図を中学校区ごとに切り出したものになります。
★旧版地形図では、以下の地域において確認する必要があります。
○旧河道・旧池・旧湿地帯 ： 地震で揺れやすく、液状化を起こす可能性があります。また、大雨時には水が集まり浸水する危険性があります。
○旧市街地 ： 古い家屋が残っており、地震や台風で倒壊する危険性があります。また、旧市街地のため道が狭く、避難路に適さない可能性があります。
○新たな宅地の造成場所など ： 山を削った箇所、盛土した箇所、池や川を埋め立てた箇所など、新たな災害が発生する可能性があります。
★本中学校区では、木造家屋が密集し狭い道も多い旧市街地が一部にあります。

6 中学校区防災力評価

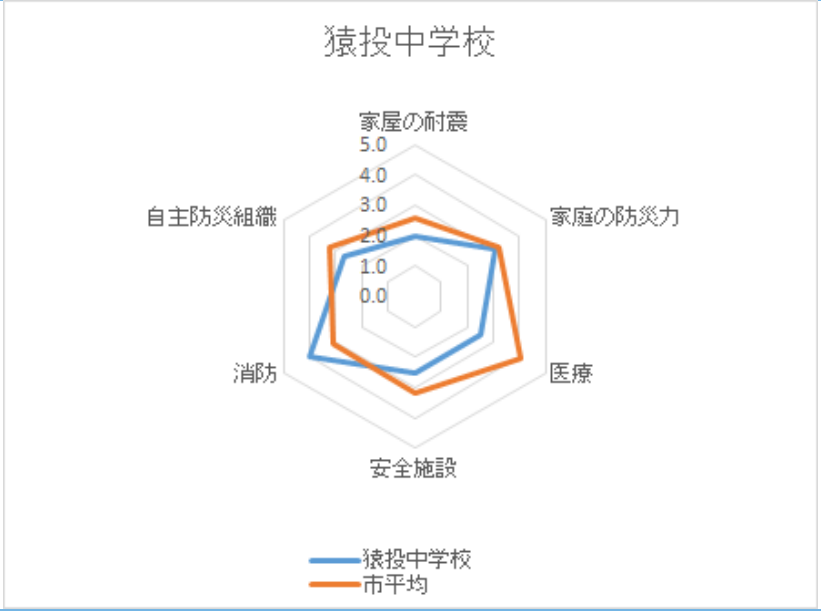
評価項目

わが国では、阪神淡路大震災から 22 年、東日本大震災から 6 年が経過し、南海トラフ巨大地震の 30 年発生率は 70%以上であり、豊田市では内閣府中央防災会議が指定する強化地域に指定されています。

愛知工業大学は平成 27 年度に、建物の耐震、自主防災組織、消防、安全施設、医療、家庭の防災力の 6 つの項目からなる地域防災カルテについて調査しました。

本調査はそのときに用いられたものであり、家庭の防災カルテの作成と、東日本大震災の影響をふまえた家庭の防災力の評価、地域防災力の再評価をすることを目的としています。

家屋の耐震	家庭の防災力	医療	安全施設	消防	自主防災組織
2.0	3.1	2.5	2.5	4.0	2.7



★家屋の耐震：地震が発生したとき、自分の住んでいる場所の被害を減らしたり、また防いだりするためにどのような対策を行っているか
★家庭の防災力：災害が起こった時のための備えはあるのか、またその時に適切な行動ができるかどうか
★医療：応急処置の仕方・処置をしっているのか、また常用薬の準備はしているのかどうか
★安全施設：避難場所として適切な場所をしっているのか、またそこに行くための安全なルートを知っているのかどうか
★消防：火災発生時に必要な物を準備しているのか、またそのとき適切な行動ができているかどうか
★自主防災組織：防災に対する地域との連携はできているのか、またどのような組織があるかしているかどうか

総合防災力評価

危険度判定

地形等の特徴と危険度

本学区は、猿投神社から南西の乙部ヶ丘団地へ延びる猿投・境川断層を境として、美濃三河高原の基盤岩となる花崗岩の地域と南側の台地に概ね二分されます。猿投中学校は台地上に位置し、猿投・境川断層と近接します。この台地を掘削するように北から南へ流れる籠川が谷底平野を形成し、軟弱な地盤が広がっています。籠川と東海環状道路に挟まれたさなげ台団地付近は、比較的地盤の硬い段丘です。

都市化に伴う造成地の災害にも注意が必要です。

地震災害

猿投・境川断層の北側は過去地震最大モデルで震度 5 強と予測されていますが、断層以南の台地ではやや揺れやすく震度 6 弱と予測されています。理論上最大想定モデルでは、猿投山山麓まで震度 6 弱の地域が拡大しています。また、液状化は籠川流域で部分的に可能性があります。

猿投・境川断層の地震が 30 年以内に発生する確率は、ほぼ 0%（地震調査研究推進本部）ですが、本学区は断層の直上に位置しますので注意が必要です。

土砂災害

本学区北側に広がる猿投山山麓は花崗岩地帯で、花崗岩は風化しやすく、このため地震動によって斜面崩壊が起きる可能性は高いと予想されます。また、豪雨時には過去、斜面崩壊や土石流が発生しており今後も発生する可能性が高く、最も警戒すべき災害です。

水害

本学区は浸水等の水害の危険性は低いですが、工場進出と都市化が進んでいますので、集中豪雨時には籠川沿いで内水氾濫の可能性があります。

総合評価と今後の課題

本学区の地盤は比較的硬いので地震の揺れも他地域に比較して小さく、過去最大地震では震度 5 強、理論最大モデルでは震度 6 弱です。ただし、籠川沿い周辺で震度が大きくなる可能性があります。

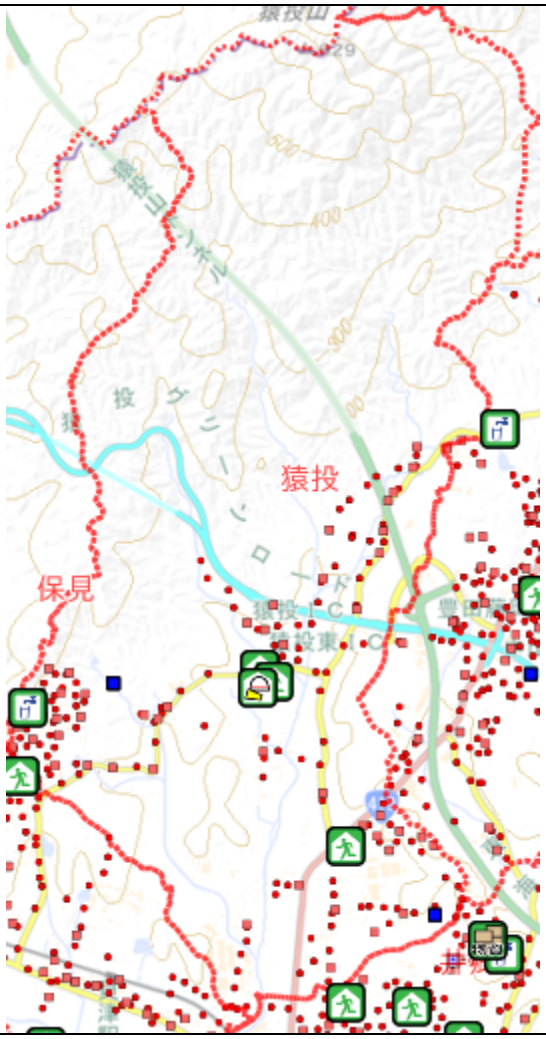
水害の可能性は低いと予想されますが、集中豪雨時には籠川など中小河川で氾濫の可能性があります。猿投山山麓は花崗岩なので土砂災害の可能性があり、住宅地で発生する崖崩れや土石流に注意が必要です。

猿投・境川断層が学区を横断しており、発生確率は低いものの想定を念頭に置かなければなりません。

【参考資料】

I　【参考資料】防災資源

I.1　防災関連施設マップ



凡例

	災害対策本部及び現地対策本部設置場所 防災対策活動拠点		消火栓
	広域避難地		防火水槽
	緊急避難場所兼避難所		井戸
	自主避難場所		
	救援物資受入施設		
	応急給水施設		

※「緊急避難場所兼避難所」については、「避難所」のみとなっている箇所があります。ご注意ください。

防災対策活動拠点

名称	所在地	代表番号 FAX 番号	無線番号	衛星携帯電話	災害用電話	応急救護所開設予定
豊田市役所 （災害対策本部）	西町 3-60	0565-31-1212 0565-37-0460	140 141 142 143 144	090-3024-4891 090-3024-4892 090-3024-4893	0565-37-0461 0565-37-0462 0565-37-0463 0565-37-0464	
崇化館交流館	昭和町 2-46	0565-33-0750 0565-33-0760	46	090-3024-5019	0565-33-0891	○
梅坪台交流館	梅坪町 1-15	0565-31-0402 0565-31-0412	48	090-3024-5024	0565-31-0432	○
浄水交流館	大清水町大清水 12-1	0565-42-5920 0565-42-5930	165	090-1985-4988	0565-46-2515	○
朝日丘交流館	御幸町 1-80	0565-34-1561 0565-34-1569	49	090-3024-5027	0565-34-1842	○
逢妻交流館	田町 3-20	0565-34-3220 0565-34-3400	50	090-3024-5029	0565-34-3342	○
高橋交流館	高橋町 3-100-1	0565-88-4887 0565-88-4891	51	090-3024-5031	0565-88-4885	○
美里交流館	美里 4-9-6	0565-80-1697 0565-80-1701	52	090-3024-5034	0565-80-1699	○
益富交流館	志賀町稔台 30	0565-80-3520 0565-80-3530	53	090-3024-5035	0565-80-3549	○
豊南交流館	水源町 1-11	0565-27-2866 0565-27-2870	54	090-3024-5036	0565-27-2976	○
末野原交流館	豊栄町 11-36-1	0565-26-6200 0565-26-6210	55	090-3024-5041	0565-26-9170	○
上郷コミセン （上郷交流館）	上郷町 5-1-1	0565-21-0001 0565-21-5095	66	090-3024-5043	0565-21-0001	○
竜神交流館	竜神町新生 115-2	0565-29-1819 0565-29-1823	56	090-3024-5045	0565-29-3142	○
若林交流館	若林東町沖田 124	0565-52-3858 0565-52-4063	57	090-3024-5048	0565-52-9924	○
前林交流館	前林町行田 29	0565-52-5474 0565-52-5596	58	090-3024-5049	0565-52-5772	○
若園交流館	花園町脇ノ田 8	0565-53-0028 0565-53-0064	59	090-3024-5052	0565-53-0062	○
猿投台交流館	青木町 2-56-26	0565-45-2838 0565-45-2943	60	090-3024-5054	0565-45-3649	○
猿投コミセン （井郷交流館）	四郷町東畑 70-1	0565-45-1211 0565-45-4824	67	090-3024-5057	0565-45-1211	○
猿投北交流館	加納町西股 67	0565-45-5480 0565-45-5612	61	090-3024-5063	0565-45-5844	○

保見交流館	保見町四反田121-1	0565-48-8006 0565-48-9345	69	090-3024-5068	0565-48-3365	○
石野出張所 （石野交流館）	力石町深田 57-2	0565-41-2001 0565-42-1861	70	090-3024-5073	0565-41-2001	○
松平コミセン （松平交流館）	九久平町寺前 16	0565-58-0001 0565-58-0049	68	090-3024-5075	0565-58-0001	○
藤岡支所	藤岡飯野町田中245	0565-76-2101 0565-76-4852	36	090-3026-7861 090-3026-7862	0565-76-2647 0565-76-2713 0565-76-5999	○
小原支所	小原町上平 441-1	0565-65-2001 0565-65-3695	37	090-3026-7863 090-3026-7864	0565-65-2155 0565-65-2156 0565-65-3999	○
足助支所	足助町宮ノ後 26-2	0565-62-0600 0565-62-0606	38	090-3026-7909 090-3026-7910	0565-62-1199 0565-62-2711 0565-62-2714	○
下山支所	大沼町越田和 37-1	0565-90-2111 0565-90-3344	39	090-3026-7911 090-3026-7912	0565-90-2040 0565-90-2064 0565-90-2237	○
旭支所	小渡町船戸 15-1	0565-68-2211 0565-68-3476	40	090-3026-7925 090-3026-7926	0565-68-2214	○
稲武支所	稲武町竹ノ下 1-1	0565-82-2511 0565-82-3272	41	090-3026-7927 090-3026-7928	0565-82-2229 0565-82-2529 0565-83-3517	○

広域避難地

地区名	設置場所	郵便番号	所在地	避難地（屋外避難）	面積（m^2）	収容可能人数
崇化館	毘森公園	471-0035	小坂町 1-41	公園一帯	80,000	40,000
崇化館	西山公園	471-0062	西山町 5-1	公園一帯	64,000	32,000
高橋	加茂川公園	471-0014	東山町 3-1	公園一帯	25,000	12,500
美里	中央公園	471-0016	千石町	公園一帯	169,000	84,500
豊南	平山公園	471-0827	平山町 4 - 6 - 1	公園一帯	30,000	15,000
竜神	土橋公園	471-0842	土橋町 6-80-1	公園一帯	37,600	18,800
井郷	井上公園	470-0372	井上町 11-8-6	公園一帯	52,000	26,000

緊急避難場所兼避難所

設置場所	所在地	電話	FAX	無線
	施設（屋内）	面積（屋内）（m²）	人員（屋内）	
	施設（屋外）	面積（屋外）（m²）	人員（屋外）	
	緊急避難場所（地震）	緊急避難場所（風水害）	避難所	
猿投中学校	加納町東股 15	45-0264	46-0408	296
	体育館	980	490	
	グランド	11,300	5,650	
	○	○	○	
加納小学校	加納町東股 55	45-0024	46-0692	238
	体育館	612	300	
	グランド	10,221	5,110	
	○	○	○	
南山国際高等・中学校	亀首町八ツ口洞 13-45	46-5300	46-5303	317
	体育館	4,532	2,260	
	グランド	11,132	5,560	
	○	○	○	

自主避難場所

自治区	名称	住所
猿投	猿投区民会館	猿投町畑中 11
猿投	猿投町公民館	猿投町神郷 81-5
猿投	猿投ちびっこ広場	猿投町神郷下 8
猿投	猿投神社第二駐車場	猿投町瀬戸田 48-13
加納町	加納稲荷神社（加納ちびっこ広場）	加納町下大坪 1
舞木町	舞木ふれあい広場（舞木町集落センター）	舞木町焼山 1102
舞木町	舞木町児童館	舞木町源内 572
本徳	本徳町構造改善センター	本徳町向山 610-2
本徳	本徳児童遊園	本徳町向山 615-1
乙部	乙部町児童館	乙部町前田 231-1
亀首町	亀首町児童館	亀首町札掛 12-1
亀首町	熊野神社	亀首町下向佃 3 番地
亀首町	森腰集会所	亀首町下向佃 69 番地
亀首町	本郷集会所	亀首町本郷 25 番地 1
亀首町	上町屋集会所	亀首町町屋洞 142 番地 31
亀首町	下町屋集会所	亀首町東畑 71 番地 1
亀首町	東山集会所	亀首町町屋洞 100
亀首町	亀首第一ちびっこ広場	亀首町雁ヶ根 31 番地 129
さなげ台	さなげ台自治区会館及び隣接のスポーツ広場	亀首町八ツ口洞 596
乙部ケ丘第 1	乙部公園	乙部ケ丘 1-20
乙部ケ丘第 1	どんぐり公園	乙部ケ丘 2-13-17
乙部ケ丘第 1	やまもも公園	乙部ケ丘 3-18-1
乙部ケ丘第 1	さくら公園	乙部ケ丘 4-12-3

災害拠点給水施設

施設名	住所	災害対策設備
豊田配水場	西山町 5-2-8	緊急遮断弁、ポンプ緊急停止
篠原配水場	篠原町敷田 57-1	緊急遮断弁
乙部ケ丘高区配水場	乙部ケ丘 4-4-5	緊急遮断弁
高町配水場	高町東山 4-120	緊急遮断弁
花本配水場	花本町青木 97-9	緊急遮断弁
川田水源送水場	水間町 1-30	ポンプ緊急停止
竜宮水源送水場	竜宮町 1	ポンプ緊急停止
五ケ丘配水場低区	五ケ丘 8-32-1	緊急遮断弁
高岡配水場	上丘町三笠 121	ポンプ緊急停止
中切水源配水場	畝部東町池田 32	ポンプ緊急停止
西中山送配水場	西中山町十七屋 124-16	緊急遮断弁、ポンプ緊急停止
深見配水場	深見町岩花 1067-16	緊急遮断弁
第２京ケ峰配水場	東山町 6-1450	緊急遮断弁

災害拠点給水施設

施設名	住所	災害対策設備
豊田配水場	西山町 5-2-8	緊急遮断弁、ポンプ緊急停止
篠原配水場	篠原町敷田 57-1	緊急遮断弁
乙部ケ丘高区配水場	乙部ケ丘 4-4-5	緊急遮断弁
高町配水場	高町東山 4-120	緊急遮断弁
花本配水場	花本町青木 97-9	緊急遮断弁
川田水源送水場	水間町 1-30	ポンプ緊急停止
竜宮水源送水場	竜宮町 1	ポンプ緊急停止
五ケ丘配水場低区	五ケ丘 8-32-1	緊急遮断弁
高岡配水場	上丘町三笠 121	ポンプ緊急停止
中切水源配水場	畝部東町池田 32	ポンプ緊急停止
西中山送配水場	西中山町十七屋 124-16	緊急遮断弁、ポンプ緊急停止
深見配水場	深見町岩花 1067-16	緊急遮断弁
第２京ケ峰配水場	東山町 6-1450	緊急遮断弁

緊急時ヘリポート可能箇所

名称	所在地 電話番号	施設 管理者	面積 (m^2)	幅*長さ	至近 利水 までの 距離	経度 緯度	機種
挙母小学校グランド	平芝町 1-1-1 0565-31-0193	学校長	13,326	70*90	70	137.160000 35.089444	小型
前山小学校グランド	前山町 1-24 0565-28-0192	学校長	16,217	100*110	70	137.170833 35.048056	小型

平井小学校グランド	百々町 5-60 0565-80-3011	学校長	11,881	90*130	90	137.197778 35.100556	中型
高嶺小学校グランド	広美町高根 2-1 0565-21-0026	学校長	14,075	65*80	40	137.125833 35.004444	小型
大林小学校グランド	大林町 14-133 0565-28-2526	学校長	10,323	65*120	50	137.146944 35.045278	小型
青木小学校グランド	青木町 4-5 0565-45-0025	学校長	11,217	70*120	75	137.182222 35.115833	中型
猿投台中学校グランド	青木町 3-80 0565-45-0039	学校長	20,878	60*100	70	137.183056 35.116944	小型
崇化館中学校グランド	栄町 2-6 0565-31-0197	学校長	18,470	60*90	80	137.153889 35.095556	小型
朝日丘中学校グランド	朝日ケ丘 5-34 0565-32-0198	学校長	8,213	85*125	110	137.148333 35.075000	中型
豊南中学校グランド	水源町 1-17 0565-28-0947	学校長	28,724	90*155	110	137.174722 35.047500	大型
高岡中学校グランド	若林西町広崎 82 0565-52-1830	学校長	19,868	120*125	100	137.090278 35.031111	中型
猿投中学校グランド	加納町東股 15 0565-45-0264	学校長	10,958	70*90	140	137.165833 35.153611	小型
豊田工業高等専門学校グランド	栄生町 2-1 0565-32-8811	学校長	29,000	105*225	130	137.152500 35.100278	大型
松平高等学校グランド	鵜ケ瀬町桐山 1 0565-58-1144	学校長	28,114	125*150	80	137.221110 35.060000	大型
白浜公園野球場	日之出町 7-25 0565-31-1212	豊田市長	19,784	150*90	100	137.168889 35.083611	大型
豊田北高等学校グランド	千石町 2-100-1 0565-80-5111	学校長	22400	215*112	50	137.181667 35.088056	中型
矢作緑地越戸公園	越戸町寺前 0565-34-6621	豊田市長	8,591	121*71	200	137.201389 35.109444	中型
豊田市運動公園陸上競技場	高町東山 4-97 0565-45-4855	豊田市長	23,300	122*191	50	137.193056 35.139444	中型
保見中学校グランド	保見町北山 18 0565-48-8026	学校長	13,730	88*156	30	137.134722 35.141111	中型
柳川瀬公園体育館グランド	畝部東町稲荷 25 0565-21-2232	豊田市長	26,500	154*172	50	137.153333 35.000000	中型
石野中学校グランド	力石町中切 258-4 0565-41-2016	学校長	12,300	127*97	30	137.241111 35.145000	中型
若園中学校グランド	花園町脇野ノ田 13-3 0565-52-2233	学校長	12,700	118*108	30	137.095278 35.017500	中型
矢作川豊田防災ステーション	森町 1-90 0565-34-6750	豊田市長	18,000	178*101	50	137.167222 35.090833	中型
愛知緑化センター第２駐車場	西中山町猿田 21-1 0565-76-2106	所長	5,000	35*140	150	137.193889 35.151389	小型
愛知緑化センター第３駐車場	西中山町猿田 21-1 0565-76-2106	所長	8,000	60*112	70	137.197778 35.152222	中型

本館前芝生大広場	西中山町猿田 21-1 0565-76-2106	所長	4,000	40*105	50	137.195556 35.154167	小型
中山小学校グランド	西中山町蔵屋敷 61 0565-76-2509	学校長	7,164	96*103	100	137.192778 35.158889	中型
藤岡地区場外離着陸場	深見町岩花 1067-1 0565-35-9701	消防長	26,000	75*100		137.202778 35.175000	大型
藤岡コミュニティ広場	藤岡飯野町井ノ脇 401 0565-76-1612	豊田市長	9,849	60*147	100	137.211389 35.196389	小型
飯野小学校グランド	藤岡飯野町弥治前 1095 0565-76-2504	学校長	10,679	50*93	100	137.213333 35.195000	小型
藤岡中学校グランド	木瀬町稽古屋 1163-3 0565-76-2521	学校長	24,149	79*146	200	137.220833 35.199444	大型
加茂丘高等学校グランド	藤岡飯野町太田代 1137-30 0565-76-2241	学校長	14,400	115*133	200	137.227222 35.191667	大型
小原ふれあい公園	小原町孫八 456 0565-65-2001	豊田市長	13,000	80*80	50	137.287500 35.227222	中型
道慈小学校グランド	千洗町道慈 382-3 0565-65-2023	学校長	4,586	50*60	40	137.262778 35.241111	小型
小原中部小学校グランド	遊屋町向垣内 191 0565-65-3002	学校長	14,621	80*90	150	137.294444 35.238333	中型
緑の公園多目的広場	市場町陣出 879 0565-66-0220	豊田市長	10,000	80*100	300	137.299167 35.229722	大型
小原中学校グランド	永太郎町馬場 59 0565-65-3011	学校長	6,082	50*90	100	137.299444 35.238056	中型
足助グランド	足助町真弓 5-1 0565-62-0600	豊田市長	8,600	70*90	10	137.325000 35.136111	小型
東大島グランド	東大島町フカバ	東大島区	7,300	70*80	100	137.269444 35.106389	小型
足助高等学校グランド	岩神町川原 5 0565-62-1661	学校長	5,635	80*130	20	137.310833 35.127222	中型
足助消防署場外離着陸場	桑田和町中貝戸 6 0565-62-0119	消防長	4,114	60*60		137.351944 35.143333	小型
下山中学校グランド	大沼町青木 1 0565-90-2140	学校長	35,200	100*160	50	137.317500 35.037500	中型
愛知県総合射撃場	宇連野町ウネ畑 12-95 0565-90-3971	場長	20,000			137.430278 35.053611	大型
下山地区場外離着陸場	大沼町八沢 118-1 0565-35-9701	消防長	2,000	100*200	50	137.322778 35.041667	中型
小渡小学校	下切戸町平田 3012-1 0565-68-2326	学校長	7,100	60*100	50	137.365556 35.230833	小型
旭高原広場	余平町梶呂畑 51-1 0565-68-2755	理事長	10,000	100*100		137.410556 35.215833	中型
矢作川池島公園	池島町坂口 18-1 0565-68-2211	豊田市長	14,000	70*200	50	137.313333 35.200833	大型
矢作川島崎公園	島崎町川原 0565-68-2211	豊田市長	6,300	70*90	30	137.361389 35.224167	小型

矢作川時瀬公園	時瀬町仲島 1 0565-62-0604	豊田市長	20,000	100*200	30	137.379167 35.237500	大型
稲武出張所場外離着陸場	稲武町宮ノヒラ 8-7 0565-82-3099	消防長	2,229	45*50	50	137.515278 35.216944	大型
黒田ダム	黒田町休石 0565-82-2384	黒田区			100	137.483333 35.183333	小型
野外学習センター	富永町ヨシガタイラ 15 052-961-1111	名古屋市長			10	137.476667 35.202778	小型

愛知県防災ヘリコプター飛行場

名称	所在地	電話番号	施設管理者	経度 緯度
藤岡地区	深見町岩花 1067-1	0565-35-9701	豊田市	137.202222 35.186389
足助消防署	桑田和町中貝戸 6	0565-62-0119	豊田市	137.336111 35.143611
旭中学校グランド	杉本町羽根 1-1	0565-68-2131	豊田市	137.369167 35.201111
矢作川豊田防災ステーション	森町 1-90	0565-35-9717	豊田市	137.168611 35.090833
足助消防署稲武出張所	稲武町宮ノヒラ 8-7	0565-82-3099	豊田市	137.515278 35.216944
緑の公園	市場町陣出 875	0565-66-0220	豊田市	137.305556 35.242500
下山地区	大沼町八沢 118-1	0565-35-9701	豊田市	137.322778 35.041667

II　【参考資料】用語説明

防災関連施設

【防災対策活動拠点施設】：おおむね中学校区を１つの地区単位とした現地情報の集約拠点で災害対策本部と指定避難所等をつなぐ役割を担い、旧市内は交流館、旧町村は支所が拠点施設となる。必要に応じて福祉避難場所、応急救護所も開設される。

【広域避難地（市指定）】：住宅密集地などで大火災が発生した場合、火災が収まるまでの間、一時的に避難する場所。

【緊急避難場所（市指定）】：切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所。

【避難所（市指定）】：災害発生後、施設の安全が確認された後に被災者が生活する場所。

【自主避難場所（自治区指定）】：市が指定した避難場所等に安全に避難できない場合に地域住民が自主的に避難する場所。

【応急給水施設】：大規模災害時など被災状況により水道施設が破損し各家庭に水道水が供給できない場合に、水道水の供給と給水車による応急給水が行える場所。最新の施設一覧は豊田市ホームページ上下水道局総務課を参照。